

重電機器受注生産品 2022年度 第IV四半期 及び 2022年度 受注実績

JEMA では、わが国の重電産業の景況を、需要者(業種)別の受注動向を通して把握して頂くことを目的に、JEMA 会員独自で実施している重電機器自主統計を公表しています。

本ニュースリリースでは、「2022年度 第IV四半期(1~3月)」及び「2022年度」における重電機器受注生産品の受注実績を公表します。

2022年度 第IV四半期(1~3月)の概要

重電機器受注生産品の 2022年度 第IV四半期(1~3月)の受注額は、5,417億円、前年同期比 107.2%と6四半期連続のプラスとなった。(※以下、前年同期比は「同」と略記)

【需要者別動向】

- ◆ 内需は 3,868億円、同 103.3%と6四半期連続のプラスとなった。
 - 製造業は842億円、同78.9%と9四半期ぶりのマイナスとなった。主要需要先のうち、鉄鋼業、自動車は同プラスとなったが、はん用・生産用・業務用機械は同マイナスとなった。
 - 非製造業は2,342億円、同117.6%と3四半期連続のプラスとなった。主要需要先のうち電力業は3四半期連続のプラスとなった。
 - 官公需は 640億円、同 97.9%と前期のプラスから転じてマイナスとなった。
- ◆ 外需は 1,549億円、同 118.1%と2四半期連続のプラスとなった。

【製品別動向】

- 交流電動機は 402億円、同 95.1%と7四半期ぶり、制御装置は 1,395億円、同 93.9%と6四半期ぶりのマイナスとなった。電力変換装置は 340億円、同 77.8%と4四半期連続のマイナスとなった。
- 発電機は 302億円、同 130.2%、遮断器は 266億円、同 172.9%となり共に、3四半期連続のプラスとなった。変圧器は 489億円、同 148.2%と5四半期連続のプラスとなった。配電装置は 837億円、116.9%と6四半期連続のプラスとなった。

2022年度の概要

重電機器受注生産品の 2022年度の受注額は1兆 9,280億円、前年度比 114.2%と2年連続のプラスとなり2011年以降で過去最高の受注額となった。内訳の需要者分類は全てプラスとなった。

(※以下、前年度比は「同」と略記)

- ◆ 内需は1兆 4,426億円、同 111.2%と2年連続のプラスとなった。
 - 製造業は3,816億円、同118.5%と2年連続のプラスとなり、2011年以降で過去最高の受注額となった。主要需要先のうち、はん用・生産用・業務用機械はマイナスとなったが、鉄鋼業、自動車は同プラスとなった。
 - 非製造業は7,952億円、同110.7%と2年連続のプラスとなった。主要需要先のうち電力業は3年連続のプラスとなった。
 - 官公需は 2,530億円、同 102.4%と前年のマイナスから転じてプラスとなった。
- ◆ 外需は 4,854億円、同 124.2%と2年連続のプラスとなった。

重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等です。

■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

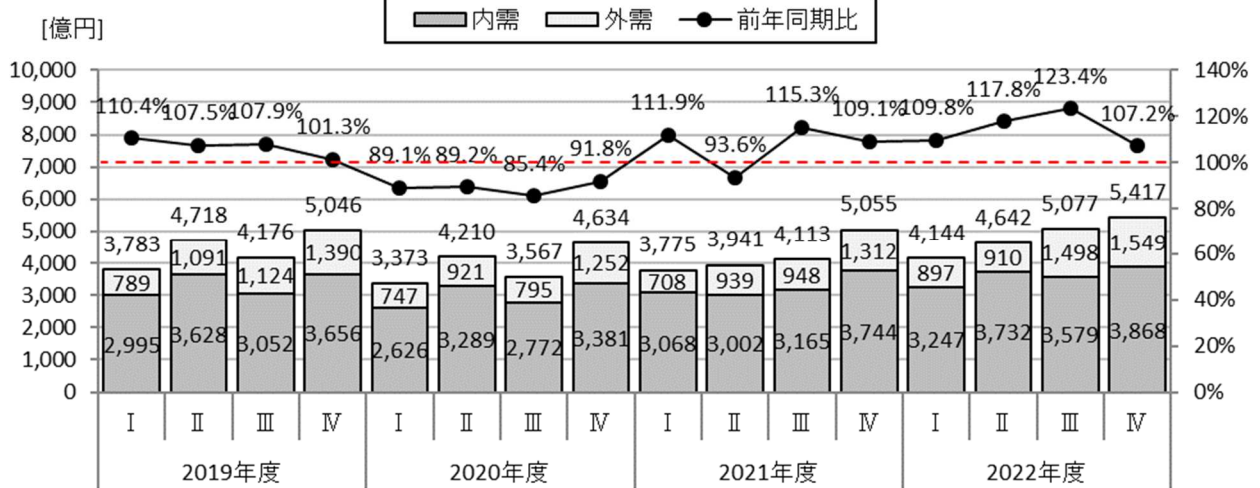
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます。

■公表の種類

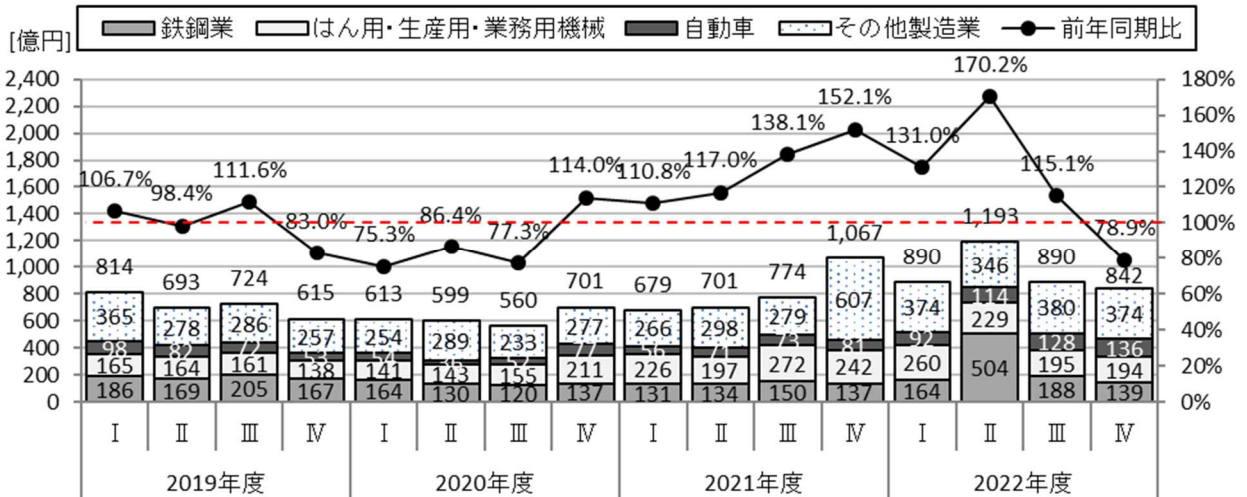
JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

四半期実績の推移

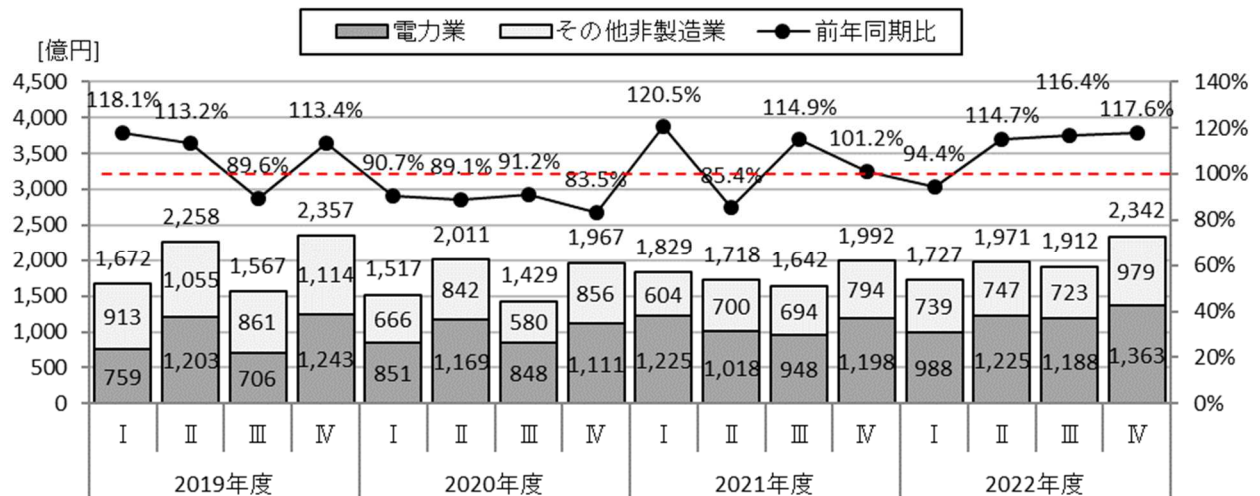
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)

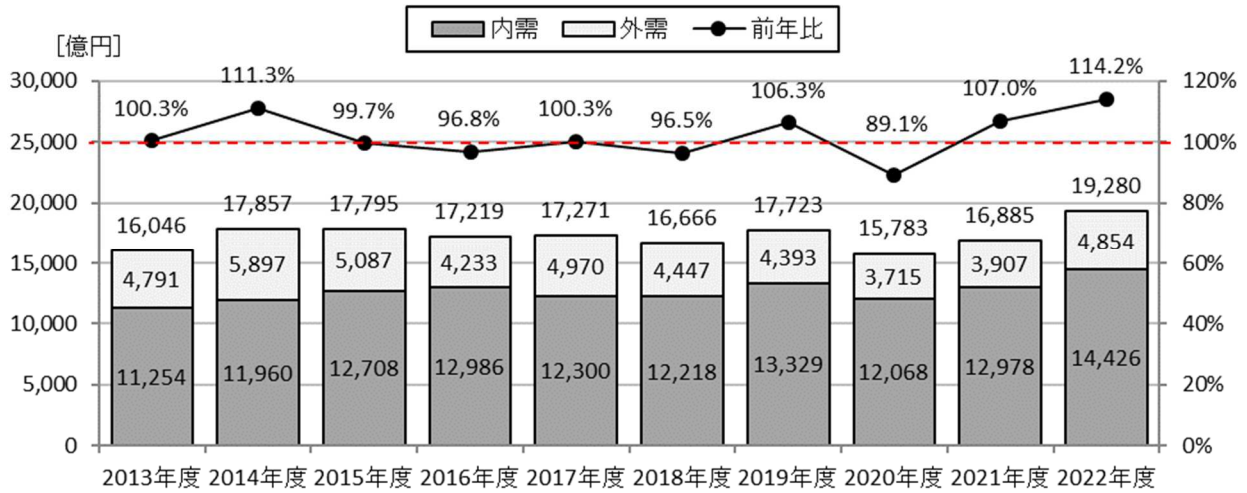


内需の内訳(非製造業)

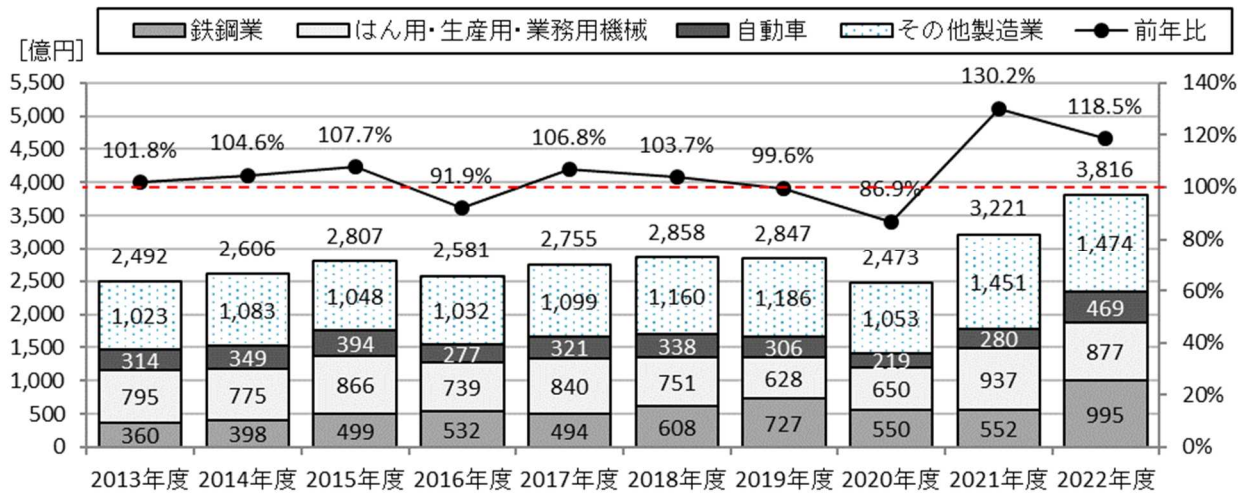


年度実績の推移

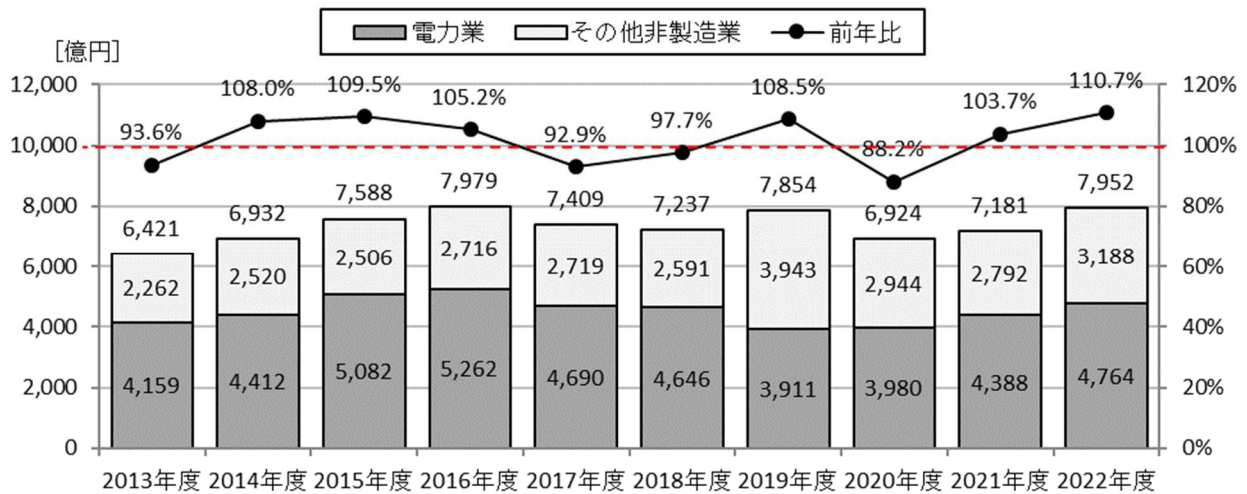
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)



内需の内訳(非製造業)



本資料に関する弊社問い合わせ先

TEL:03-3556-5882

企画部 統計課